

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	千葉県・佐倉市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	佐倉城下町400年記念事業・日本遺産活用推進事業		
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>千葉県内では唯一、日本城郭協会の「日本100名城」の一つに選定されている「佐倉城」は、土井利勝が慶長15年（1610）に佐倉の領主となった翌年から、約7年間の歳月をかけて築きあげたとされている。城下町佐倉の基礎はこの時につくられ、江戸時代を通じて11名もの老中が配された幕府の要衝として栄え政治・軍事の面で江戸を支えた。さらに、幕末期の藩主堀田正睦によって蘭学が推奨され、蘭医佐藤泰然によって蘭医学塾兼診療所「順天堂」が開設されるなど、蘭学の先進地として発展を遂げた地でもある。明治時代には、陸軍歩兵第2連隊、第57連隊がおかれ軍都として発展し、戦後はベッドタウンの消費地として成長し、伝統と文化を築き上げてきた。</p> <p>佐倉市は、市総合計画の将来都市像「歴史 自然 文化のまち～「佐倉」への思いをかたち～」を実現するための取り組みである「佐倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を平成27年に策定した。その基本目標の一つに「佐倉の魅力を発信し、新しい「ひと」の流れをつくります」があり、歴史・自然・文化といった市の資源を十分に活用したシティプロモーションを推進し、交流人口の増加とともに、定住人口の維持・増加につなげていく。</p> <p>その中で、平成28年4月、佐倉市を含む「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」が「日本遺産」に認定された。佐倉市は、城下町としてストーリーを構成する四都市の一つに数えられている。佐倉・城下町400年記念事業の成果の一つであり、今後はこの記念事業で行ってきた地域活性化事業を継承する「日本遺産」を活かした地域活性化事業を展開している必要がある。</p> <p>日本遺産に認定された北総四市の総合的な取り組みは、日本遺産北総四都市江戸紀行活用協議会が実施する事業となる。しかし、さらに日本遺産のブランド力を高め、城下町佐倉の歴史・文化資産を活用することで地域を活性化すると同時に、城下町佐倉をより深く知り愛着を持つ人の増加を図るためには、佐倉市独自の取り組みを積極的に実施・発信していかなければならない。これを受け、佐倉市では佐倉・城下町400年記念事業を発展的に継承する日本遺産活用推進事業を策定・計画し実施していく。</p> <p>主な実施内容としては、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①国登録有形文化財「旧武居家住宅」（武家屋敷）の宿泊体験型改修の準備・実施 ②城下町佐倉の祭礼文化遺産を活かした地域活性化事業 ③武家文化を体験する甲冑・時代衣装の試着イベント ④城下町佐倉の歴史・文化を紹介する総合展示、資料調査、関連書籍の発行 ⑤「城下町佐倉」のイメージ向上のためのプロモーション <p>などを計画している。</p>			
6 実施体制			
<p>本実施計画に係る全体の企画調整、補助事業に係る指導等は、下記の担当課が行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐倉市教育委員会文化課 各種補助事業に係る文化財の取り扱いに関する指導・調整 「5 実施計画の概要」における①③④の事業を実施 「5 実施計画の概要」における②の補助事業への協力、指導 ・佐倉市産業振興課 観光振興に係るイベントの企画、実施、連携 「5 実施計画の概要」における③の事業を実施 ・佐倉市企画政策課シティプロモーション担当 市のイメージ向上、魅力発信のためのシティプロモーション 「5 実施計画の概要」における⑤の事業を実施 <p>また、補助事業は次の団体が実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐倉山車人形保存会（会長：二番町代表者 高石惣一郎） 「5 実施計画の概要」における②の事業を実施 構成団体（横町、上町、二番町、仲町、肴町、間之町、弥勒町の町内会長、祭礼委員長） <p>加えて、事業の実施・協力については、次の担当課、団体が行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐倉時代まつり実行委員会（会長：佐倉市長 蔵和雄） 「5 実施計画の概要」における③の事業を実施 構成団体（佐倉市産業振興課、佐倉商工会議所、佐倉市観光協会） ・佐倉市行政管理課市史編さん担当 「5 実施計画の概要」における④の事業への協力 			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 41,930 千円	平成29年度申請額： 7,974 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	

9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）

【対市民】

- ・市民の郷土への愛着や市民のアイデンティティを確かにし、佐倉の文化を根付かせる。
- ・歴史・文化資産が集中する佐倉地区だけでなく、市内全域で「歴史のまち」のイメージの定着。
- ・旧城下町商店街の統一イメージづくりへの協力→観光化→商業活性化→顧客の獲得→さらなる観光化、行政・民間事業者の相乗効果による地域の観光・経済活性化。

【対市外】

- ・佐倉を訪れたい、住みたい、住んでいてよかったと感じる機運の醸成
- ・都心から電車で1時間以内の日帰り観光地として、新たな観光ルートの提案。
- ・自治体ツイッターやイメージキャラクターの広報等、新たなメディアの活用による低コストでの認知度向上。

10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）

事業概要：	
事業概要：	
事業概要：	

11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等

事業の実施により、自治体と地域がより密接にかかわっていく中で、文化財の保存・活用を振興していく意識・意欲を向上させていく。これまで、歴史的建造物の悉皆調査、市内の神社仏閣建造物の調査、市内遺跡分布地の調査などを行ってきた。これを踏まえ、歴史文化基本構想の策定を視野に入れながら、再調査が必要となっている各町の祭礼用具の悉皆調査、調査が行われていない市内の神社仏閣の宝物類の調査を行い、市内の文化財の状況を広く把握していく。

12 担当部局

地方公共団体 担当部局課	佐倉市教育委員会文化課文化財班
-----------------	-----------------

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の文化遺産への来場者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	武家屋敷、旧堀田邸、順天堂記念館への入館者数			関連事業 :	事業②⑤⑥	
目標値 1 :	平成 28 年度		48,000 人	⇒	平成 33 年度 70,000 人	
設定根拠 1 :	過去3年間の入館者数の伸び率平均6%を参考として、毎年伸び率9%~10%を設定。					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 2 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 2 :	地域の祭礼行事等への入込客数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	佐倉の秋祭りへの来場者数			関連事業 :	事業①②⑥	
目標値 2 :	平成 28 年度		260,000 人	⇒	平成 33 年度 300,000 人	
設定根拠 2 :	平成28年度の来場者数を起点に、各年度8000人ずつ、最終的に30万人の来場者数を目標とする。					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 3 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 3 :	地域に誇りを感じる住民の割合 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 3 :	日本遺産「北総四都市江戸紀行」の認知度 (市民)			関連事業 :	事業③⑤⑥	
目標値 3 :	平成 28 年度		30 %	⇒	平成 33 年度 80 %	
設定根拠 3 :	平成28年度集計結果を起点に、各年度10%ずつ、最終的に80%以上の認知度を目標とする。					
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
%	%	%	%	%	%	
目標区分 4 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 4 :	祭礼行事への参加住民数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 4 :	山車、御神酒所の引き廻し、お囃子演奏への参加増加数			関連事業 :	事業③④	
目標値 4 :	平成 28 年度		330 人	⇒	平成 33 年度 500 人	
設定根拠 4 :	平成28年度の参加者数を起点として、持続的な数字を維持していく。					
進捗状況 4 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	

